

新任薬剤師研修会に参加して

栃木医療センター 松岡 美央

出身大学：明治薬科大学（2022年）

2022年3月に明治薬科大学を卒業し、4月から栃木医療センターで薬剤師として働いております。約4か月が過ぎ、人生初の一人暮らしにもやっと慣れてきたところです。私は埼玉県出身ですので、周りに山も見えず、住宅が多く立ち並ぶ景色に見慣れていましたが、宇都宮に来て遠くに山が見える景色には新鮮さを感じます。そして、毎朝鶯の声と共に出勤でき、清々しい気持ちで一日を迎えられます。自転車が趣味ですので、知らない土地を走り、そこにしかないものを見つけることが休日の楽しみとなっています。

研修会ですが、内容は医療安全についてでした。衝撃だったことが2点あります。まず、「〇〇についてずっと見ていてください」と言われて見続けた結果、別の出来事が複数起こっていることに全く気付くことができなかつたことです。一つのことに集中しすぎて視野がかなり狭くなっていることに驚きました。日々、様々な変化が起きている患者の情報を見落とすことにもつながってしまいます。常に広い視野で物事を見ていく必要があると痛感しました。もう一点は、医療従事者間のハウレンソウの怠りが患者を危険な状態にさせてしまう恐れがあることです。相手に要件を適切に伝えないと、緊急度が下がり、後回しになっ

てしまいます。結果的に患者へ適切な医療が提供できなくなります。大学時代からハウレンソウの大切さについては教えられてきましたが、実際にどのように患者へ影響してくるのかを知った時、他人事ではなく一人一人が医療従事者としての自覚をもって患者と接しないといけないと感じました。また、チーム内でコミュニケーションをとっていく際、「SBAR（状況、背景、評価、提案）」を意識して要件を的確に迅速に相手へ伝えることの大切さも学ばせていただきました。

現在は初当直を終えて、調剤業務だけでなく病棟業務にも携わらせていただいています。まだ業務を覚えることやこなすことで手一杯で、他の先生方の手を借りながら働いています。同時に、調剤に伴う責任の重さや知識不足も痛感しています。今は一つ一つ自分で調べながら正確に丁寧に調剤するよう心がけています。今後は、研修で学んだSBARを意識したコミュニケーションを心掛しつつ、自分の技量を高めるために自己研鑽に励み、日々の業務で多くのことを吸収していきたいと思っています。一人前の薬剤師として成長できた時、患者様からも医療従事者からも信頼されるような薬剤師でありたいです。